

VIII 水産業関係

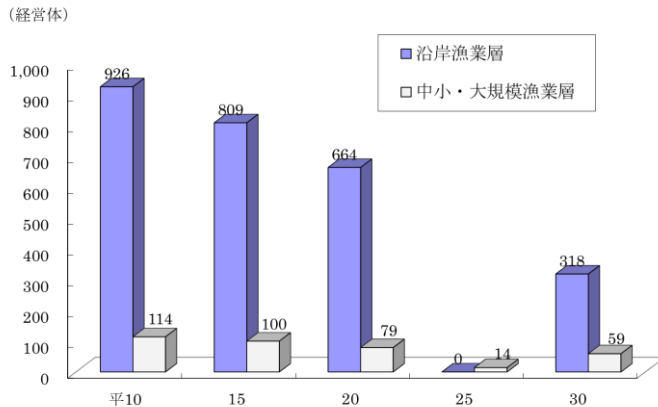
1 漁業経営

(1) 漁業経営体数

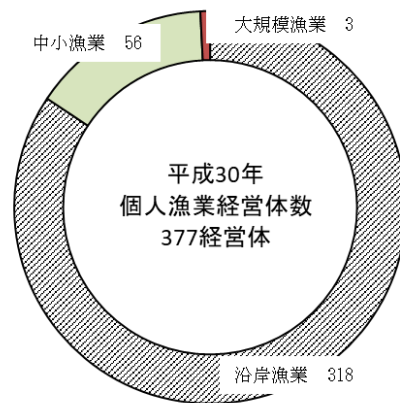
本県の平成30年の漁業経営体数は377経営体で、平成25年と比べて363経営体増加しています。また、平成30年の動力漁船使用経営体数は282経営体で、平成25年と比べて268経営体増加しています。

本県の漁業経営体数は、東日本大震災及び原子力災害の影響により平成25年では統計上大きく減少しましたが、平成30年は震災後に試験操業に取り組んでいる個人経営体が含まれたことにより増加しました。

本県の漁業層別漁業経営体数の推移



本県の漁業層別漁業経営体の構成比 (平成30年)



本県の漁業層別漁業経営体数

(単位：経営体、%)

区分	計	沿岸漁業							中小漁業	大規模業
		小計	漁船非使用	無動力船	動力船(10T未満)	定置網	海面養殖			
平10	1,040	926	6	—	811	9	100	108	6	
15	909	809	9	—	711	4	85	95	5	
20	743	664	7	5	573	4	75	76	3	
25	14	0	0	0	0	0	0	12	2	
30	377	318	6	—	259	—	53	56	3	
H30/H25	2692.9	—	—	—	—	—	—	466.7	150.0	
構成比(H30)	100.0	84.4	1.6	—	68.7	—	14.1	14.9	0.8	

(資料：農林水産省「漁業センサス」)

本県の動力船階層別漁業経営体数

(単位：経営体、%)

区分	計	1t未満	1~3	3~5	5~10	10~20	20~50	50~100	100~1,000	1,000t以上
平10	925	174	82	359	196	65	12	—	31	6
15	811	140	59	319	193	66	12	—	17	5
20	652	105	33	260	175	54	12	—	10	3
25	14	—	—	—	—	1	1	—	10	2
30	282	1	15	98	109	41	7	—	8	3
H30/H25	2014.3	—	—	—	—	4100.0	700.0	—	80.0	150.0
構成比(H30)	100.0	0.4	5.3	34.8	38.7	14.5	2.5	—	2.8	1.1

(資料：農林水産省「漁業センサス」)

(2) 沿岸漁業新規就業者数

沿岸漁業の新規就業者数は、震災前は毎年 10 名程度で推移しており、震災後数年はこれを下回ったものの、近年では震災前の水準に回復し、令和 4 年度ではこれを上回る 17 名でした。

本県の沿岸漁業新規就業者数の推移

平22	23	24	25	26	27	28	29	30	令元	2	3	4
4	3	5	4	2	2	10	11	14	9	17	8	17

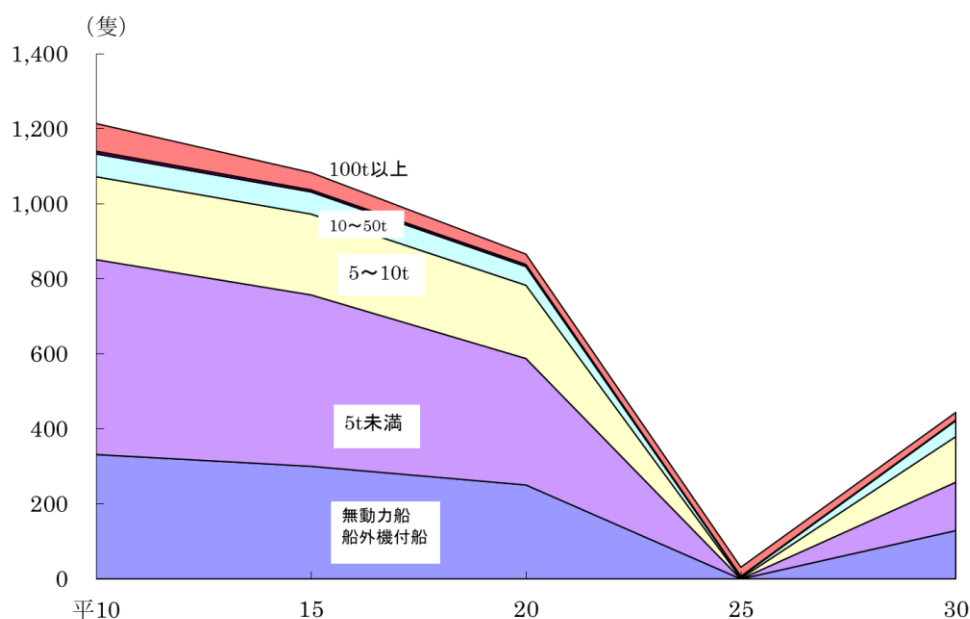
(県水産事務所調べ)

2 漁船隻数

本県の平成 30 年の海面漁業に使用した漁船隻数は 444 隻で、平成 25 年と比べて 412 隻増加しました。

本県の漁船隻数は、漁業経営体数と同様に、東日本大震災及び原子力災害の影響により統計上大きく減少した後、試験操業の拡大により大幅に増加しました。

本県の漁船規模別隻数の推移



本県の漁船規模別隻数・総数

(単位：隻、t、%)

区分	計	無動力船	船外機付船	動力漁船						
				小計	5t未満	5~10	10~50	50~100	100t以上	
平10	1,215	16	315	884	521	220	61	7	75	
15	1,083	22	279	782	456	216	58	6	46	
20	865	13	237	615	338	195	50	5	27	
25	32	—	—	32	—	1	4	3	24	
30	444	—	128	316	130	122	42	1	21	
H30/H25	1387.5	—	—	987.5	—	12200.0	1050.0	33.3	87.5	
構成比(H30)	100.0	—	28.8	71.2	29.3	27.5	9.5	0.2	4.7	

(資料：農林水産省「漁業センサス」)

3 海面漁業生産量と海面漁業生産額

(1) 海面漁業生産量

本県の令和3年の海面漁業生産量は6万2,660t

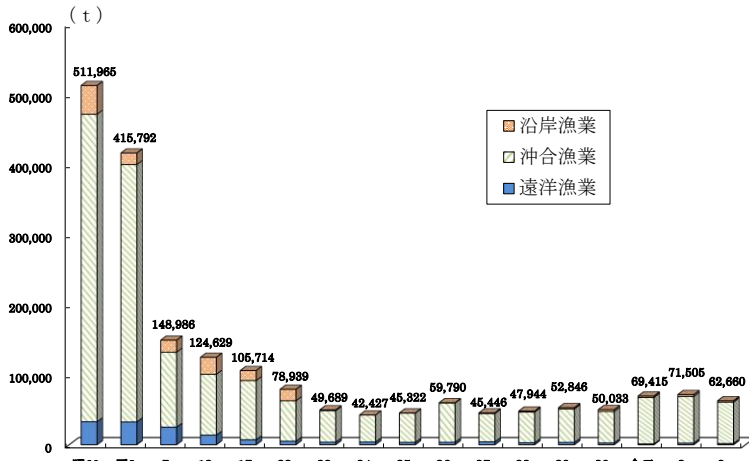
令和3年の海面漁業生産量は6万2,660tで、前年と比べて8,845t減少しました。

沿岸漁業の自粛等の影響で、漁業生産量は前年に引き続き非常に低い水準になっています。

なお、魚種別漁獲量ではカツオが2,098t（前年比211.5%）、ヒラメが596t（前年比105.5%）となっています。

本県の部門別生産量の推移

(単位：t,%)



	海面漁業					
	部門別				魚種別	
	計	遠洋	沖合	沿岸	カツオ	ヒラメ
昭60	511,965	32,795	438,229	40,941	4,049	438
平2	415,792	32,520	366,758	16,514	5,273	150
7	148,986	25,085	106,834	17,067	4,230	376
12	124,629	13,684	86,755	24,190	4,871	396
17	105,714	7,168	84,329	14,217	4,962	304
22	78,939	5,015	57,655	16,269	2,844	734
23	49,689	3,613	44,962	1,114	1,792	78
24	42,427	3,866	38,516	45	1,489	0
25	45,322	3,407	41,675	240	2,432	0
26	59,790	3,489	55,935	453	2,725	0
27	45,446	4,186	40,239	1,021	2,451	0
28	47,944	2,916	43,684	1,344	704	51
29	52,846	3,306	47,695	1,845	2,247	328
30	50,033	2,559	44,832	2,642	1,007	397
令元	69,415	1,201	66,213	2,001	821	541
2	71,505	2,358	66,473	2,674	992	565
3	62,660	1,795	58,917	1,948	2,098	596
令3/令2	87.6	76.1	88.6	72.8	211.5	105.5
構成比(令3)	100.0	2.9	94.0	3.1	3.3	1.0

※海面漁業生産量には試験操業の漁獲量を含む。

※沖合漁業には未公表値が含まれることから、部門別合計値から遠洋、沿岸漁業の数値を差し引いた値とした。

(資料：農林水産省「海面漁業生産統計調査」)

(2) 海面漁業生産額

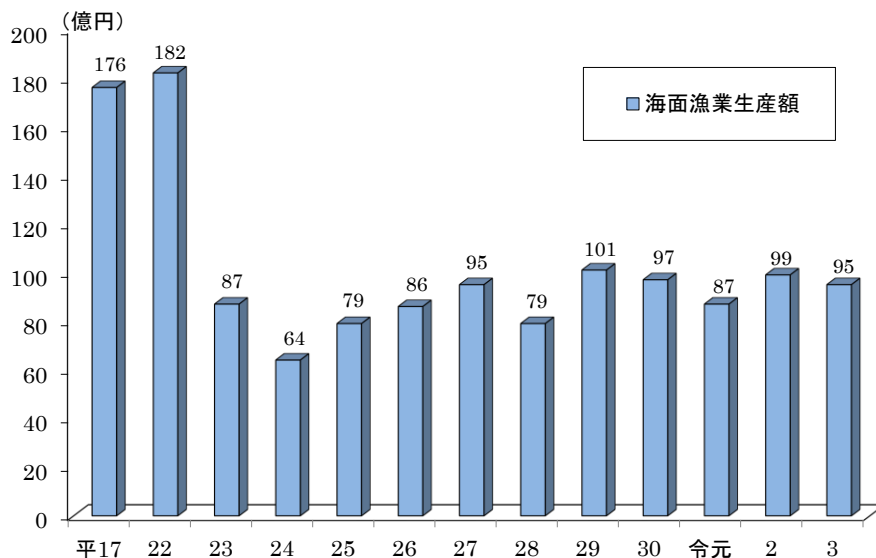
本県の令和3年の海面漁業生産額は95億円

令和3年の海面漁業生産額は前年と比較して4億円減少し95億円となっています。

生産量と同様に、沿岸漁業の自粛等の影響で低い水準になっています。

本県の海面漁業生産額

(単位：億円)



	海面漁業生産額
平17	176
22	182
23	87
24	64
25	79
26	86
27	95
28	79
29	101
30	97
令元	87
2	99
3	95

※海面漁業生産額には、試験操業による生産額を含む。

(資料：農林水産省「漁業産出額」)

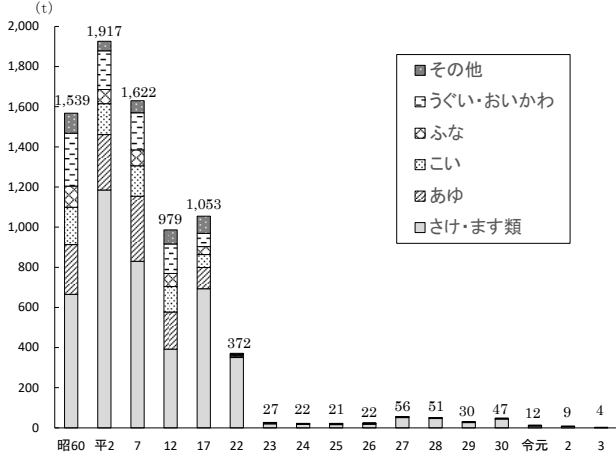
4 内水面漁業・養殖業生産量

本県の令和3年の内水面漁業生産量は4t、内水面養殖業生産量は1,130t

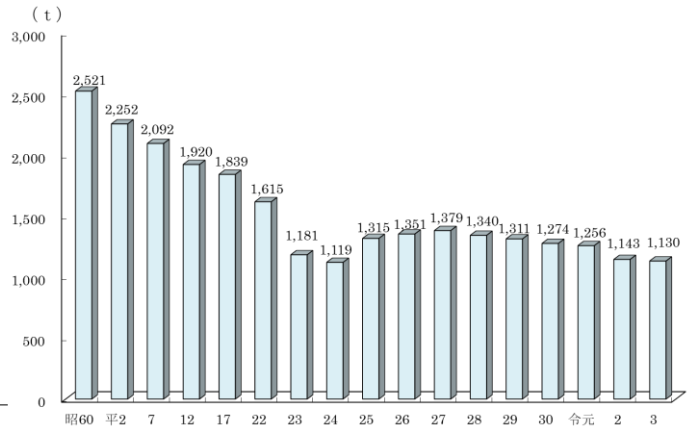
本県の令和3年の内水面漁業生産量は4tで、前年と比べて5t(56%)減少しました。令和3年の「さけ・ます類」の生産量は1tで、東日本大震災及び原子力災害の影響により依然低い水準となっています。

令和3年の内水面養殖業生産量は1,130tで、前年と比べて13t(1.1%)減少しました。なお、本県の内水面養殖業は「こい」が60.4%を占めており、全国2位の生産量となっています。

本県の内水面漁業生産量の推移



本県の内水面養殖業生産量の推移



本県の内水面漁業・養殖業生産量の推移

(単位：t、%)

	計	内水面漁業							内水面養殖業				
		小計	さけ・ます類	あゆ	こい	ふな	うぐい・おいかわ	その他	小計	にじます	その他のます類	こい	その他
昭60	4,060	1,539	665	248	186	106	263	100	2,521	445	53	1,952	71
平2	4,169	1,917	1,185	276	154	71	193	47	2,252	423	258	1,527	44
7	3,714	1,622	830	324	152	79	185	60	2,092	292	290	1,462	48
12	2,899	979	392	185	127	65	147	70	1,920	298	310	1,298	14
17	2,892	1,053	693	106	64	40	66	86	1,839	x	x	1,244	x
22	1,987	372	350	4	6	1	5	5	1,615	327	x	1,059	—
23	1,208	27	20	2	1	0	3	1	1,181	335	x	705	x
24	1,141	22	17	2	1	0	1	1	1,119	275	x	679	x
25	1,336	21	16	3	1	0	1	1	1,315	277	x	885	x
26	1,373	22	18	3	1	0	1	1	1,351	277	x	914	x
27	1,435	56	51	2	1	0	1	1	1,379	281	x	932	x
28	1,391	51	46	2	1	0	1	1	1,340	271	145	912	x
29	1,341	30	26	2	1	0	1	0	1,311	272	154	871	x
30	1,321	47	44	2	0	0	1	1	1,274	273	142	846	13
令元	1,268	12	9	2	0	0	1	1	1,256	271	141	830	x
2	1,152	9	7	2	0	0	0	0	1,143	265	120	744	x
3	1,134	4	1	2	0	0	0	0	1,130	315	119	683	x
令3/令2	98.4	44.4	14.3	100.0	—	—	—	—	98.9	118.9	99.2	91.8	—
構成比(令3)	—	100.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	27.9	10.5	60.4	—

※平成18年以降、内水面漁業のうち遊漁漁獲量が除かれた。

※表中「x」は個人又は法人、その他の団体に関する秘密を保護するため、統計数値が公表されていないものを示す。

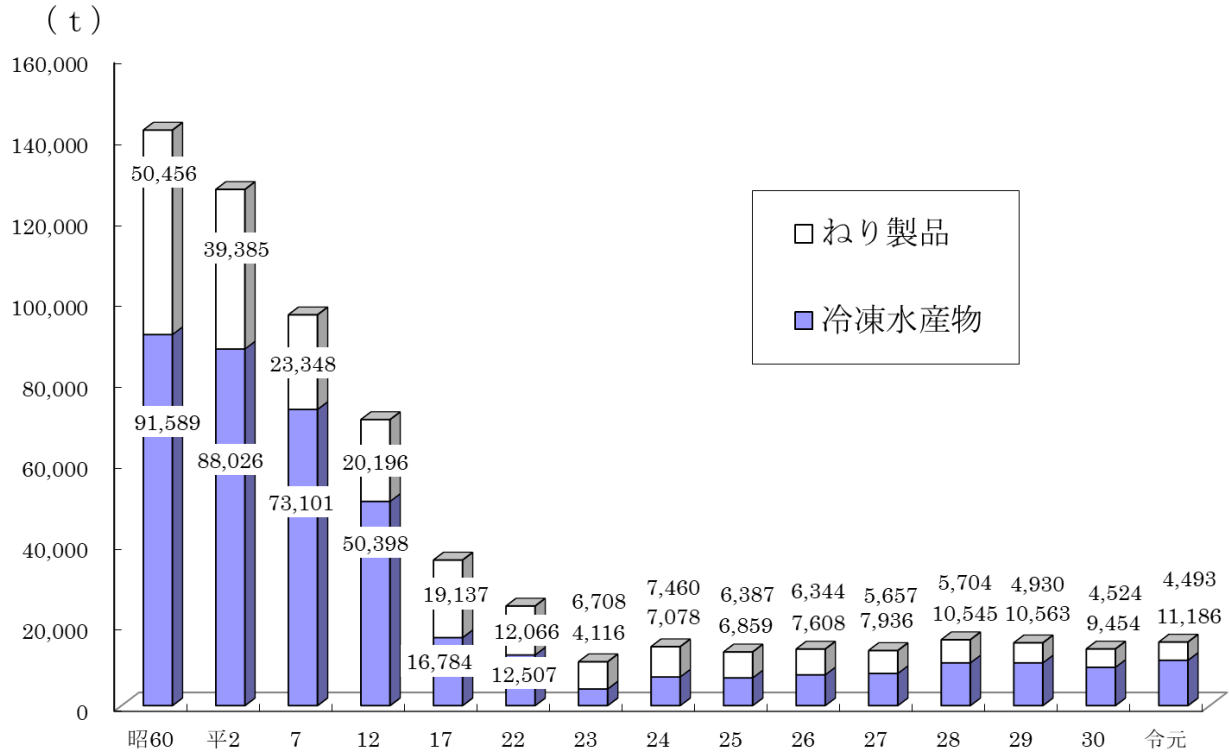
※小数点以下の端数処理のため、合計値が合わないことがある。

(資料：農林水産省「内水面漁業生産統計調査」)

5 水産加工品生産量

本県の水産加工品生産量は、ねり製品と冷凍水産物が主体です。東日本大震災及び原子力災害の影響を受け低迷していますが、令和元年の生産量は、ねり製品4,493tで、前年と比べて31t(0.6%)減少し、冷凍水産物は11,186tで、1,732t(18.3%)の増加となっています。

本県の水産加工品生産量の推移（ねり製品・冷凍水産物）



本県の水産加工品生産量の推移

	水産加工品生産量 (t)								焼・味付の千枚
	計	ねり製品	冷凍食品	素干し・塩干し・煮干し品	塩蔵品・くん製品・節製品	その他の食用加工品	その他	冷凍水産物	
昭60	175,179	50,456	1,177	9,148	374	2,150	20,285	91,589	47,172
平2	144,017	39,385	1,758	7,734	29	2,845	4,240	88,026	64,142
7	105,083	23,348	1,073	5,277	199	2,085	—	73,101	104,009
12	78,259	20,196	851	4,748	34	2,032	—	50,398	139,219
17	44,837	19,137	572	2,459	x	4,851	1,034	16,784	147,099
22	x	12,066	—	x	x	3,649	x	12,507	x
23	x	6,708	1,021	x	x	3,828	—	4,116	80,322
24	x	7,460	1,171	x	x	4,281	—	7,078	86,671
25	x	6,387	2,009	x	x	4,080	—	6,859	47,941
26	x	6,344	2,685	x	x	4,183	—	7,608	77,930
27	x	5,657	2,887	x	x	4,377	—	7,936	78,582
28	x	5,704	4,011	x	x	4,349	—	10,545	91,382
29	x	4,930	3,852	3,611	x	4,116	—	10,563	93,495
30	x	4,524	4,911	4,011	x	3,488	—	9,454	114,308
令元	x	4,493	3,819	3,647	x	3,437	—	11,186	112,237
令元/平30	—	99.3	77.8	90.9	—	98.5	—	118.3	98.2

※合計には焼・味付けのりを含まない。

※H18以降は、標本調査による推計値。

※表中「x」は個人又は法人、その他の団体に関する秘密の保護等のため、統計数値が公表されていないものを示す。

※令和2年から「水産加工統計調査」（農林水産省）においては、主産県を対象とした調査に変更され、本県は調査対象外となったことから統計値の把握ができなくなった。（資料：農林水産省「水産加工統計調査」、「漁業センサス」）